

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 急性期脳卒中患者におけるヘルスリテラシーと脳卒中再発の関連性の検討

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 小杉つかさ (リハビリテーション部・理学療法士)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：2025年9月5日～2026年8月31日

目的：脳卒中患者におけるヘルスリテラシーと1年以内の再発の関連性を明らかにすることです。

方法：カルテ情報を用いた観察研究です。

■ 対象となる患者さん

■ 2021年12月から2024年9月までに当院に脳卒中で入院し、研究番号：第21-32「急性期脳卒中患者のヘルスリテラシーと動脈硬化や健康行動との関連」に登録された方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：年齢、性別、身長、体重、BMI、診断名、入院期間、NIHSS (脳卒中神経学的重症度の評価スケールとして世界的に最も広く利用されている評価の一つ)、MMSE (認知機能を評価する検査)、GCS (意識レベルを評価する検査)、ADL、入院中リハビリテーション実施単位数 (理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)、転帰先、栄養スクリーニング評価、歯の欠損の有無、頸動脈エコー、入院中の有害事象の有無 (肺炎・尿路感染・深部静脈血栓)、ヘルスリテラシー、睡眠評価、抑うつ評価、フレイルリスク評価、スクリーンタイム、脳卒中発症後1年以内の再発 (入院・外来) の有無、再発病名、再発までの日数等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

小杉つかさ リハビリテーション部

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971